

大栗 民江

(公明党)

市民の健康を守る取り組みは

問 乳がん・子宮がんの無料クーポン券を配布し、従来と比べどう変化したのか。

答 過去に比べ全体受診数は、子宮がん約90人、乳がん約70人増加。クーポン券は受診のきっかけづくりとして有効と判断。

問 受診向上の取り組み・環境づくりの更なる連携推進は。

答 22年度より個別検診を予定。PR用チラシ配布、触診モデル・触診用グローブの紹介、自己検診法を図解したカードを浴場



乳幼児検診オリエンテーション

やふらつとシャワー室に設置する。商店街や銀行と連携し取り組みをすすめる。

子宮頸がん予防ワクチン

問 若い女性に急増している子宮頸がんのワクチン接種が国内で開始されたが、公的支援も含め本市の見解は。

答 ワクチンは6ヶ月に3回接種、約4万5千円程度と予想、市としては、検討状況や動向を見極め判断する。教育委員会や保健所と連携し予防普及に努め広報等で市民に啓発していく。

高齢社会の期日前投票等は

問 高齢になると、投票所で宣誓を書くだけでも緊張し手が震える方もおられる。自宅で記入し持参できるように入場券に印刷は可能か、今後の対応は。

答 受付事務簡素化の観点から検討する。接遇も含めて雰囲気づくりを検討し努力していく。

問 郵便投票における対象者の範囲拡充についての対応は。

答 4月から身体障害者手帳に肝臓障がい記載の方が、範囲に加えられた。今後も国に要望。

覚 幸 伸 夫

(民主クラブ)

地域建設業経営環境評価は

問 地方の公共事業が激減する中、地元業者への配慮により、企業経営が安定する手持ち工事量を考慮する項目である、地域建設業経営環境評価の総合評価落札方式導入の考えはないか。

答 本市では、試行ではあるが総合評価一般競争入札を実施しており、価格だけによる従来の方式とは違い、過去の実績などを評価する地域貢献度を重視した内容となっている。また、地域建設業経営環境評価は現在、



地域建設業の総合評価を推進

北海道建設業審議会専門委員会で検討されており、今後、道の動向を見極めて考える。

地域大型工事は

問 富良野地域の大型工事が発注されており地元企業の協力、地元資材など提供・参加できるように推進を図ることが必要では。

答 市内に於いて今年度、北の峰トンネルや空知川頭首工第一期工事が、相次いで旭川開発建設部より発注となっており、本市の活性化のため車両・労務・資材等の活用をお願いする。

木質バイオマスの利活用

問 新エネルギー資源の中で、地域に多くある森林資源を活用した木質エネルギーについて、全庁的に一体となり、検討する考えはないか伺う。

答 本市に於いては地域特性を活かし、環境へ与える負荷が小さい新たなエネルギーの導入を促進するため、本年度「富良野市地域新エネルギービジョン」を策定した。木質バイオマスの活用は必要不可欠と考え重点プロジェクトとした。